



医学科

医療とは何か、医学から何を学ばなければならないか

医学科は、広く教養を学び知識の調和を保ち、総合的、自主的な判断力を養い、厳しい訓練を通じて人間の生命の尊厳に対する自覚を培い、21世紀の医学と医療の担い手として、6年間で知識と技術を習得します。

感染症に対するグローバルな視点を身につける



感染症の実地教育

医学科では、現在の日本では既に見ることの少ない多くの感染症をいまだに流行の続く熱帯地域で学習するため、4年次の研究室配属の一環として、学術協定を締結しているマニラのサンラザロ病院（フィリピン国立感染症専門病院）に学生を派遣しています。学生たちは、2週間の日程で、午前中は病棟での実習、午後は感染症専門医による講義を受講し、感染症に対するグローバルな視点を身につけることに全力で取り組んでいます。そしてこの取り組みは、「国際・熱帯感染症実地教育プログラムの構築」として、文部科学省の平成18年度「大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育実施支援）」に採択されました。



Curriculum

● 教育課程

イントロダクトリーコースの導入

入学直後、専門教育開始前および臨床実習開始前などにイントロダクトリーコースを設け、学生がスムーズに新しい修学段階に移行できるよう配慮しています。

統合カリキュラムの編成

従来の基礎医学、臨床基礎医学、社会医学、臨床医学という医学教育の分類をできる限り機器別、機能別に統合した統合カリキュラムに改め、これらをチュートリアル方式で勉学します。

クリニカル・クラークシップの導入

臨床教育を充実させるため、クリニカル・クラークシップを採用した臨床実習を、第5年次前学期から開始します。そのほかに、地域医療の現状を学習することを目的とした救急車同乗実習などが組まれています。

1年次	前学期	イントロダクトリーコースⅠ
	後学期	教養教育科目・基礎教育科目
2年次	前学期	イントロダクトリーコースⅡ
	後学期	
3年次	1	専門教育科目(チュートリアル教育)
	2	
	3	
4年次	1	専門教育科目(研究室配属)
	2	
	3	
5年次	前学期	専門教育科目 [臨床実地修練(大分県立病院での実習を含む)]
	後学期	
6年次	前学期	卒業試験
	後学期	